

2026年 6月9日・10日 火 水

タワーホール船堀  
東京都江戸川区船堀4-1-1

大会長 長岡 正人  
(株)ヤクルト本社中央研究所



## 第30回 腸内細菌学会学術集会

# マイクロバイオーーム研究の 未来地図 — 腸内細菌とともに 拓く次世代医療 —

6/9 火 9:55 ~ 18:00

若手ワークショップ (発表)  
ワークショップ (一般発表)

### 腸内細菌学会学術集会 30周年記念講演

神谷 茂 杏林大学

「腸内細菌学会 30年の歩みとこれから：アカデミアの視点から」

梅崎 良則 腸内細菌学会 前総務主幹

「腸内細菌学会 30年の歩みとこれから：  
企業の視点から—アカデミアとの出会い—」

### 腸内細菌学会研究奨励賞授賞式・受賞講演

### 海外特別講演

Clara Belzer Wageningen University & Research, Netherlands

“A Sweet Deal: Microbiome Glycan Nexus”

### ワークショップ (ポスター発表)

6/10 水 9:30 ~ 15:30

### シンポジウム 1

腸内細菌叢のダイナミクス：発達・加齢と健康への影響を探索

河本 新平 東北大学

「細胞老化を介した腸内細菌叢による老化促進機構」

中山 二郎 九州大学

「アジア人ワイドに視る小児期の食と腸内細菌叢と健康の関連性」

明和 政子 京都大学

「腸-脳軸からみたヒト発達における親子共制御のダイナミクス」

天本 隆太 (株)ヤクルト本社中央研究所

「高齢者の腸内細菌叢と、それに影響を及ぼす諸因子」

宮本 潤基 東京農工大学

「加齢依存的な腸内細菌代謝物と生体エネルギー代謝制御」

### シンポジウム 2

マイクロバイオーームを活用した疾患制御とウェルビーイング創出

小山 正平 国立がん研究センター研究所

「マイクロバイオーームを活用したがん免疫微小環境制御の可能性」

北本 祥 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター

「口腸連関から紐解く癌原性細菌の体内動態と制御への展望」

松岡 悠美 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター

「微生物を利用したアトピー性皮膚炎の予防、治療の可能性について」

柳原 格 大阪母子医療センター

「周産期医療分野における腸内細菌叢の重要性」

石川 大 順天堂大学

「腸内細菌療法の現状と展開」

6/9 市民公開講座 13:30 ~ 15:30  
小ホール

## 腸内細菌と運動

青柳 幸利 東京都健康長寿医療センター

▶ 長生き歩きと腸活の効果について  
一中之条研究 25 年の成果

横山 幸浩 名古屋大学

▶ 手術前には「筋肉」と「腸」を鍛えましょう！：  
プレハビリテーションとシンバイオティクスの有用性

参加費

|                      | 会 員     | 一 般     | 学生会員   | 学生(一般) |
|----------------------|---------|---------|--------|--------|
| 事前参加登録<br>3/2 ~ 5/20 | 9,000円  | 13,000円 | 1,000円 | 2,000円 |
| 通常参加<br>5/21 ~ 6/10  | 11,000円 | 15,000円 | 1,500円 | 2,500円 |

要旨集 個人会員・一般・学生 ▶ 無料配布 (PDF ファイル)  
当日別売 (学会誌抄録号) ▶ 2,000 円

<https://bifidus-fund.jp/>

主催 公益財団法人 腸内細菌学会  
TEL: 03-5319-2669 FAX: 03-5978-4068

